

「第2回先進キャリアセミナー（アカデミア編）：生き抜くためには専門性に加えて何が必要か？」

来る、2026年10月10日（土）、先進理工学部・研究科が主催となり、「第2回先進キャリアセミナー（アカデミア編）：生き抜くためには専門性に加えて何が必要か？」を開催いたします。

本イベントは博士学位を取得し、アカデミアでテニユア教員として活躍されている先進理工学部出身の方々をゲストスピーカーにお招きし、講演とパネルディスカッションにおいて、学生時代から現在のポジションに就くまでのキャリアと博士進学を決意した時期や切掛け、これまで取り組んできた研究、及び現在取り組んでいる研究内容をお話しいただきます。さらに、大学院、とくに博士課程において習得した技量や知識および経験が現在のポジションに就くのどの様に役立っているか、テニユア教員となるためには専門性以外に何が必要であるかなどを討論します。

万障繰り合わせの上、ご参加ください。本イベントに参加した学部生、修士課程・博士課程学生が大いに刺激を受けることを期待しています。

【開催日時】2026年10月10日（土） 15:00～18:00

【会場】早稲田大学西早稲田キャンパス 63号館 2階 04会議室

【対象】早稲田大学の学部生、大学院生、教職員

【申込先】<https://forms.gle/k53AaBe7jjiY5WUt8> ※申込先から事前登録が必要です。

【主催】早稲田大学先進理工学部・先進理工学研究科

【後援】早稲田オープン・イノベーション・エコシステム挑戦的研究プログラム（W-SPRING）／早稲田次世代 AI イノベーション・エコシステム挑戦的研究プログラム（W-SPRING-AI）

【プログラム】

15:00-15:05 開会挨拶 早稲田大学 先進理工学部長・研究科長 朝日 透

15:05-16:35 講演

東邦大学 理学部 准教授	鈴木 健士	物理学科 勝藤研出身
千葉大学 情報・データサイエンス学部 准教授	久保 尋之	応用物理学科 森島研出身
東邦大学 薬学部 准教授	吉川 武司	化学・生命化学科 中井研出身
東北大学 多元物質科学研究所 准教授	岡 弘樹	応用化学科 小柳津研出身
東京農工大学 大学院工学研究院 准教授	山岸 健人	生命医科学科 武岡研出身
早稲田大学 先進理工学部 准教授	喜久里 浩之	電気・情報工学科 林研出身

16:35-16:45 休憩

16:45-17:55 パネルディスカッション

パネリスト 鈴木 健士／久保 尋之／吉川 武司／岡 弘樹／山岸 健人／喜久里 浩之
モデレーター 朝日 透

17:55-18:00 閉会挨拶 早稲田大学 先進理工学部教務主任 勝藤 拓郎

【ゲスト プロフィール】

◆ 鈴木 健士（すずき たけひと）

2009年早稲田大学にて博士（理学）を取得後、理化学研究所（2009–2014年）及びマサチューセッツ工科大学（2014–2020年）において博士研究員及び研究員として研究活動に従事。東邦大学理学部講師（2020–2026年）を経て、2026年より現職。研究領域は物性実験であり、無機材料の合成と磁性及び輸送特性の測定を通じて、新しい量子物性の解明に取り組んでいる。

◆ 久保 尋之（くぼ ひろゆき）

2006年早稲田大学理工学部物理学科卒業。2008年同大学大学院物理学及応用物理学専攻（博士前期課程）修了。2011年同大学大学院物理学及応用物理学専攻（博士後期課程）単位取得退学、2012年同大学にて博士（工学）取得。2008年より日本学術振興会特別研究員（DC1）。2011年より1年間早稲田大学理工学術院助手。2012年よりキャノン株式会社。2014年より奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科助教、2017年より1年間

Carnegie Mellon University Robotics Institute 客員研究員（兼務）、2020 年より東海大学情報通信学部特任講師、2022 年より千葉大学大学院工学研究院准教授、2024 年より同大学大学院情報学研究院准教授、現在に至る。コンピュータグラフィクス、コンピュータビジョン、コンピュータショナルフォトグラフィに関する研究に従事。

◆ 吉川 武司（よしかわ たけし）

2015 年早稲田大学大学院先進理工学研究科化学・生命化学専攻博士後期課程修了。博士（理学）。同大学先進理工学部の助手、助教、講師、および理工学術院総合研究所の次席研究員・研究員講師を経て、2020 年より東邦大学薬学部准教授、現在に至る。専門分野は、理論化学、量子化学、計算化学。大規模分子系を対象とした高精度かつ効率的な電子状態計算手法の開発を中心に、量子コンピュータを用いた量子化学計算アルゴリズムの開発や、有機反応の機構・選択性の理論的解明に取り組んでいる。早稲田大学先進理工学部化学・生命化学科 関根吉郎賞（2012 年）、早稲田大学先進理工学部化学・生命化学科 博士学位賞（2015 年）、日本化学会第 96 春季年会優秀口演賞（学術）（2016 年）、新化学技術推進協会、第 7 回化学技術研究奨励賞（2018 年）などを受賞している。

◆ 岡 弘樹（おか こうき）

2021 年早稲田大学一貫制博士課程早期修了。博士（工学）。日本学術振興会特別研究員（PD）、国際競争力強化研究員（CPD）、大阪大学大学院工学研究科テニユアトラック助教を経て、2023 年東北大学に多元物質科学研究所講師として着任、2025 年同学准教授に昇任、現在に至る。NanoFrontier 株式会社取締役 CTO、株式会社アモリス取締役、株式会社 CoA Nexus ボードメンバー、京都大学学際融合教育推進センター 委員、茨城大学カーボンリサイクルエネルギー研究センター特命研究員、NanoFrontier × Nittobo × 東北大学共創研究所運営支援責任者、東北大学×保土谷化学共創研究所運営支援責任者などを兼任。持続可能な社会実現に向けたエネルギーの創・蓄・変・活を担う機能性ナノ材料を中心とした研究を展開している。これまでに、日本学術振興会育志賞（2021 年）、早稲田大学小野梓記念学術賞（2021 年）、新化学技術推進協会新化学技術研究奨励賞（2023 年）、日本接着学会奨励賞（2025 年）、Polymer Journal (Springer Nature) Rising Stars（2025 年）、化学工学会研究奨励賞・實吉雅郎記念賞（2026 年）、ACS Rising Stars in Materials Science（2026 年）、Royal Society of Chemistry 出版の 10 の国際学術誌より Emerging Investigator 選出（2026 年）などを受賞している。

◆ 山岸 健人（やまぎし けんと）

2018 年に早稲田大学一貫制博士課程修了し、博士（工学）を取得。早稲田大学ナノ・ライフ創新研究機構（2018 年）、シンガポール工科大学（2018–2021 年）、米国ノースウェスタン大学（2021–2023 年）において博士研究員として研究活動に従事。2023 年から 2025 年まで東京大学大学院工学系研究科電気系工学専攻にて講師を務め、2026 年 1 月より現職。独立 PI として Bio-Integrated Electronic Systems Laboratory を主宰。専門は、生体医工学、生体材料、柔軟・伸縮性エレクトロニクス、付加製造技術。生体組織と一体化する電子デバイスの創製と、その医療・スポーツ・ヘルスケアへの応用を中心に研究を展開。これまでに、MIT Technology Review「Innovators Under 35 Japan」（2024 年）、日本生体医工学会研究奨励賞・阿部賞（2019 年）、応用物理学会講演奨励賞（2015 年）などを受賞。

◆ 喜久里 浩之（きくさと ひろし）

2018 年早稲田大学一貫制博士課程修了。同年、国立研究開発法人産業技術総合研究所入所、同所再生可能エネルギー研究センター研究員、主任研究員を経て、2025 年早稲田大学先進理工学部准教授、現在に至る。博士（工学）。主に、再生可能エネルギー電源が大量導入された電力システムの解析、HIL（Hardware-in-the-Loop）シミュレーション、電力システムの運用・制御への AI 応用、およびエネルギーネットワークの統合に関する研究に従事。

【お問い合わせ先】

朝日 透 E-mail : tasahi@waseda.jp